

公益社団法人 日本ボクシング連盟 令和7年度 第4回理事会議事録

- 1 招集通知年月日 令和7年10月15日(水)
- 2 開催年月日及び時刻 令和7年10月23日(木) 20時00分～
- 3 開催場所 オンライン会議システム zoom を用いたリモート形式
- 4 出席・資格確認 理事 18名中
出席 12名
仲間達也 杉崎正明 井崎洋志 林田 豊 大政邦弘
岩崎友基子 金子浩美 鬼頭茉衣 須佐勝明 廣澤倫明
本 博国 安川浩樹
欠席 6名
小山田裕二 木村 吏 鈴木遥香 関口 孝 細野光史
高橋 藍

議決権数 18 個中 12 個

監事 3名中
出席 2名
高橋直子 森 悦男
欠席 1名
鬼柳忠彦

オブザーバー3名
浦田 功 原 光二 及川雄太

開会 (20時00分)

定款第34条第4項に則り、林田 豊専務理事代行が議長となった。議長はテレビ会議用アプリケーション zoom を使用して Web 出席を行っている理事及び監事、オブザーバーの回線が正常に稼働していることを相互に確認し、本理事会は適法に成立した旨を宣した。次いで定款38条2項により仲間達也会長、高橋直子監事、森 悦男監事が署名人となることが報告された。書記には廣澤倫明理事、安川浩樹理事が指名され審議・決議事項に入った。

5 目的事項

(1) 審議・決議事項

- 1 日連主催大会に関する、競技運営役員、審判員謝金・日当の改定について

林田 豊専務理事代行より、書面決議で提案後(7月7日)、書面決議ではなく理事会決議に変更されたことにより、理事会での審議となったことの説明ののち、今回決議

できればこの理事会以降の大会で、謝金・日当の増額で運用するとの説明があった。

可決 （賛成 11 名 賛否不明 1 名）

仲間達也会長より、全日本マสบクシング選手権大会が直近の大会ではあるが、関係各所への連絡が間に合わないことから全日本ボクシング選手権大会からの施行との提案がなされた。

可決 （賛成 11 名 賛否不明 1 名）

2 事故報告書提出義務と連盟登録時の誓約書について

仲間達也会長より、選手登録時の同意事項として、肖像権だけではなく重大事故発生時の各種報告義務を追加するとの提案がなされた。また、本理事より個人情報公開範囲についての質問がなされ、仲間達也会長より個別の事案についての回答は原則しないと回答があった。

可決 （賛成 11 名 賛否不明 1 名）

3 連盟強化事業各所手続きについて

原 光二事務局長代行より、海外派遣手続きをスムーズに進めるために、強化委員会→選手選考委員会→理事会の選考過程において、大会開催日程と選考選手決定日の期間によっては渡航手続きが間に合わないことが説明され、仲間達也会長より、大卒の候補選手で各委員会に適宜資料を提出し審議・決議を進め、派遣選手確定後速やかに渡航手続きを進められる形にしたいとの提案がなされた。

可決 （賛成 11 名 賛否不明 1 名）

4 競技規則改正について

林田 豊専務理事代行より、医事ハンドブック改正とリンクした改正が主であり、各改正事項について個別に説明を行った。

可決 （全会一致）

5 WB 階級移行に伴うジュニア大会階級変更について

須佐勝明理事より、競技区分及び男女別の階級説明が行われた。

可決 （全会一致）

6 100周年記念事業関連委員会設立について

仲間達也会長より、記念誌作成、式典開催について別個に委員会設立が提案された。

杉崎副会長より、井崎洋志副会長を中心に実行委員会設立が提案された。

仲間達也会長より、執行部に一度持ち帰り再提案されることが説明され、決議は行われなかった。

7 長野県高校総体計量不正に係る関係者の処分案について

杉崎正明副会長より、不正に至る経緯が説明され、日連は不正計量となった選手は失格であるとの文書を長野県ボクシング連盟に送付したが、長野県高体連は不正計量となった選手の出場資格を取り消さなかったことが報告された。

浦田 功委員長より、顛末書に関する意見書を提出し理事の判断に委ねることが報告された。

杉崎正明副会長より、長野県連盟3名の処分案が提案された。

可決 (全会一致)

(2) 報告事項

1 JOC 選手強化費の詳細と現状について

仲間達也会長より、遠征費に関しては三分の一がNFの自己財源、二分の二がJOC選手強化費で行われており、現状はNFの自己財源不足からJOC選手強化費を満額受けることが困難であることから、選手から自己負担金を徴収し、それをNFの財源として運用することでJOCからは了承を得てスムーズに運用してきた。しかし、NSCJSCから選手の自己負担金はNFの財源とは見なさず助成金枠で計算するものであるとの指摘を受けた。これはボクシングに限らず他のNFも同様である。

そのような形で強化費を効率よく活用するか、遠征費用の自己負担のあり方などに関して、議論が行われた。

2 バンテージ受益者負担について

原 光二事務局長代行より、大会運営経費の高騰により現状のバンテージ支給を行うためには大会参加費を値上げせざるを得ない。それならば大会参加費の値上げではなくバンテージの支給をやめて大会参加費は据え置きにしたい。

3 仲間会長 YouTube での情報発信について

仲間達也会長より、記者会見以外で話す機会がなくマスコミに意図しないニュアンスで報道されることから直接情報発信をしたい。

4 ボックスオフ開催について

須佐勝明理事より、2026 年の WB 関連の各種大会代表を決めるため、WB カップファイナルのニューデリー大会に出場する選手と全日本選手権大会優勝者とのボックスフを 2 月 28 日土曜日、3 月 1 日日曜日に予定している。

5 アジアユースゲームズ 2025 (U17) 派遣選手について (R7. 8. 18)

書面決議済

6 医事ハンドブック改正について (R7. 8. 29)

書面決議済

7 2025 全日本選手権大会日連推薦選手追加について (R7. 9. 3)

書面決議済

8 日本連盟スポーツ団体ガバナンスコード遵守状況自己説明について (R7. 9. 16)

書面決議済

9 令和 7 年度全国高校選抜大会の日連推薦選手について (R7. 10. 11)

書面決議済

10 日連事務局、清水裕美様の紹介について

原 光二事務局長代行より、人員不足のため職員が補充されることが報告された。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ 21 時 58 分に閉会した。

以上の議事内容を明確にするため本議事録を作成し、議事録署名人が署名押印する。

令和7年11月 日

議事録署名人 仲間 達也



議事録署名人 高橋 直子



議事録署名人 森 悦男

